

(株)あいらんど
経営支援補助金

齋藤(幸)議員 平成23

年度(株)あいらんど経営状況報告書によると販売費、一般管理費は西ノ島町のホテルも経営に加えているにもかかわらず、22年度より低くおさえている。会計基準の変更を考慮しても経費削減の努力はしていたと思うが。

観光課長 経営陣は努力

していたと思う。

議員 平成24年4月、

6月にも400万円、2

00万円と計600万円の社長借入金がある。ま

た貸借対照表をみると、

すでに2100万円の役

員借入金があるが資金シ

ヨートは今に始まつたこ

とではないと考えるが。

課長 役員借入金につい

ては支払いできないと社

長に伝えている。

議員 町長は同僚議員に経営刷新と答えていた。

89%の大株主である町としての責任はどう考えて

いるか。労働基準監督署

の調査が入っているがど

うなっているのか。町長 経営陣の努力は認めている。人事刷新の人材もむずかしいが、これをしないと議会、市民の理解を得られない。



冬期休業の海音里

町政を問う！

一般質問

問

… 議員質問

町長

… 町長答弁

教長

… 教育長答弁

今回は8人の議員が一般質問を行い、活発な議論が展開されました。

紙面上、質問と答弁は要約した内容になっております。

全文記録は議会事務局にあり、ホームページにも掲載いたします。



平田 文夫 議員

問

歳以上を高齢者と規定し、「支えられる人」と一律に位置づけることは、高齢者の実態にも、高齢者の意識・意欲にもそぐわない。

高齢者の中には、元気な人もいて、「全てが支えられる存在ではない」という考え方は広く受け入れられている。

しかし、高齢者は総じて元気で就労や社会参加に意欲的であることを考えれば十分に活用し、今後の高齢者社会を支える貴重なマンパワーとして、さらに積極的に位置づけるためにも、シルバー人材センターの開設をすべきと思うが。

その必要性を十分に認識しながらも、公益法人としての自立運営、会員の確保、事務局体制などの課題もあり、これら

の課題を整理することが必要であり、いま少し時間が必要である。

**Q シルバー人材センター開設を。
A 必要性は認識しているが時間が必要。**

町長

シルバー人材セ

ンターの開設は、

離島振興の創意と工夫を。
航路運賃の低廉化に努める。

Q 町長は、常に運賃の低廉化を訴えているが、国は、長崎県の離島においては、離島航路事業者に対して老朽船舶の更新や船舶長寿命化に要する経費の補助を行う際、補助相当額を全額運賃低廉化に反映させることを補助金の条件としている。創意工夫なくして国は動かない。町長の考えは。

A 町長は、常に運賃の低廉化を訴えているが、国は、長崎県の離島においては、離島航路事業者に対しても老朽船舶の更新や船舶長寿命化に要する経費の補助を行う際、補助相当額を全額運賃低廉化に反映させることを補助金の条件としている。創意工夫なくして国は動かない。町長の考えは。

離島航路の課題は、文化会館で開催された隠岐振興フォーラムで、隠岐水産高等学校海洋学科システム科3年の3名が、学校紹介と隠岐の活性化と題して意見発表を行った。

結論は、隠岐への「愛」である。私も感動した。今後は、「まちづくり」のいろいろな會議に参加させるべく、町当局も検討したい。



安部 和子 議員

Q 女性の模擬議会の開催を。
A 女性に限定した取組みは難しい。

女性の行政に対する参加意識を高め、提案を町政に生かすため「女性の模擬議会」を毎年あるいは隔年ごとに、開催する事を提言する。これは、男女共生社会の創造や、女性の政策決定参加のアプローチとして、意義深いものがあるが。

Q 適材適所を考え管理職に女性を登用すべき。
A 今後は考慮していく。

わが町は現在重要施策を決定する本議会は男性のみだ。「第2次隱岐の島町男女共同参画」にあるように、管理職に女性を登用すべきだ。

男女共同参画を念頭に入れ、管理職にふさわしい職員を選んでいるが、年齢構成や

メリハリのある職場となると思う。安定は大事だが挑戦も大事だ「役が人をつくる」ということもある適材適所を考慮し、ぜひ女性管理職を置くべき



きだ。

今までの流れに沿って安定した人選の人も居ない。の道をとつてきた。女性のパワーは世界でも認められている。今後は考慮していきたい。



女性の模擬議会を



米沢 寿重 議員

Q 貴重な地域資源を活かした観光振興を。
A 関係機関と協議、検討し、態勢づくりに努める。

「隠岐ジオパーク」の世界登録認定は保留となつたが、隠岐特有の地質や生態系、多様な文化は現地審査で高い評価を受けた。このような生態系や地域文化を理解し、自然体験を行う「エコツーリズム」は最も注目され、理にかなつた観光形態の一つである。貴重な地域資源を活かした「エコツアーア」は徐々に実績を挙げ、地道な活動を展開している。

本町が観光振興を進めるにあたり、今後より一層「エコツアーア」の推進を図つて行かなければならぬ。ガイドの養成や学芸員の配置等の態勢づくりが急がれているが、どのように考えているか。

「男池」「女池」はこの機会に実態調査を行い、必要な箇所から計画的に整備を進めて行く。淨土ヶ浦海岸の歩道については国と現在協議中で、工事は来年度以降となる見込みである。

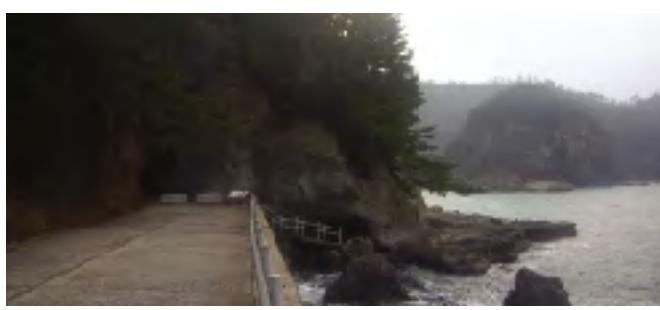
連携の強化が確認された。また、「観光振興計画」の中でも「縁結び観光協会」「大山中海園域観光」との連携を図つて行くとされているが、今後、広域観光にどう取り組んで行くのか。

町長 男女共同参画を念頭に入れ、管理職にふさわしい職員を選んでいるが、年齢構成やふさわしい職員を人選しているが、年齢構成や

町長 が挑戦も大事だ「役が人をつくる」と云うことある適材適所を考慮し、ぜひ女性管理職を置くべきだ。

町長 「男池」「女池」はこの機会に実態調査を行い、必要な箇所から計画的に整備を進めて行く。淨土ヶ浦海岸の歩道については国と現在協議中で、工事は来年度以降となる見込みである。

域観光協議会」が発足し、



土木遺産の旧福浦トンネル